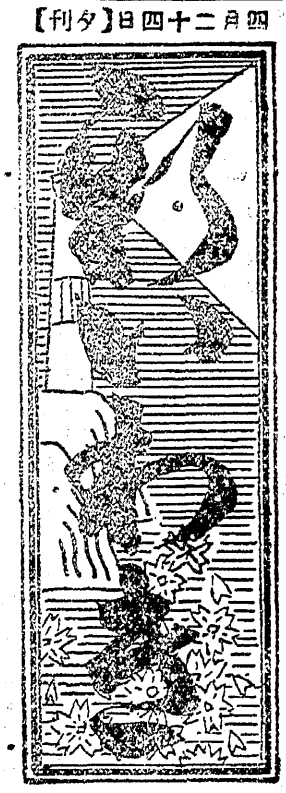
四月二十四日【夕刊】



休日　日曜大祭日
一部　月税　廿五錢　十五錢　二錢
廣告　一行四〇錢　場所指定廿錢增
發行所　福島縣平南町田　新いわき新聞社
印刷人　半谷政亨

本土一週の騎馬旅行
金山歩兵の平町通過
草野村に宿泊の豫定で
本月末か來月の初め頃

石城郡入遠野村の在郷騎兵の居る地である石城の街道を櫛田彦之進氏が青森、下の關間四百里を騎馬旅行に征服し軍人の意氣を全國にうたはれたことはまだ耳古いことでないが更に之れを

倍加す　る長途を同じく鐵蹄にかけて目下青森縣下を蹴つてゐる山口縣人歩兵上等兵金山榮介（二〇）氏は三月上旬郷里下の關を發後既に西部海岸道を征服し、

軍事思　想普及の壯圖をば到る所に歡迎されつゝあるもので東海岸街道に移つて間もない本月末か月初め頃同圖企友櫛田騎兵

通過す　る筈で同郡草野村を旅宿の地に豫定され在郷軍人を初め青年團員が歡迎の準備中であるが平町在郷軍人會でも金山氏の雄々しい本土一週の旅途を稱ふべく

協議中　であつて過の當日は論記櫛田彦之進氏も郡界を超える双葉郡久の濱まで之れを迎ひ両雄相揃つて本郡に繰込む而かも歩兵と騎兵の對照もまた面白く沿道は觀衆で賑ふことであらうと

相合統卒が欠けた
平二業組合の向後
從來の樣な提携は望み薄
平和會の成長に潛行運動

平町の料理屋及び藝妓屋組合では組合長谷口仁太郎氏を失つて以來兩者を携ふる適任がなく二ッに分れた組合長の後任物色中であるが六日前記谷口氏の五十日祭後に於て總會を開き新組合長を決する模樣であつて選任は幹部の詮衡に任せ座長の指名となるらしく後任として

屈指さ　れるものに谷口氏の息長治氏その他數氏あるも結局三好家主人鈴木重助氏が推されるであらうと見られ次へで料理側では全く其人に乏しく絶對多數を女將連に占められてゐるから女組合長を推してはとの說もあるが

關係か　ら料理側では此の成長を望むものが少なくなく町内有志連を背影としての潛行運動が起つてゐるから新藝妓屋組合長には向後幾多の難關あるに相違なしと唱ひられ其成ゆきを興味視されてゐる

路線を擧げて熱贊
菅澤開路の記念碑
額は安藤子爵選文は小波氏
來五月末頃に於て除幕式か

平町から好間村に出て石城郡の西部三坂澤波方面に通ずる菅の澤道路の開鑿功勞者である同町古鍛冶町鹽屋本店山崎家の先代及び同關係の努力を

後世に　遺すべく研究區長木澤常松氏外左記諸氏の發起を以て記念碑建設を計劃されてゐることは既報したが右に對して平町各區は勿論路線關係部落を擧げて熱誠なる

贊成を　受け遲くも來月末頃までに建碑の運びを見るものゝ如く明廿五日午後七時前記木澤氏宅に發起人會を開き役場吏員及び土木委員の參加を求めて町會の

意見に　諮り記念碑の位置その他を決定する筈になつてゐる篆額開鑿記念の四文字は安藤子爵に碑文は嚴谷小波先生に撰まれ工費七百圓の豫算は柱石に百圓、石工料百五十圓、篆刻及撰文に八十圓、雜費五十圓、除幕式に百二十圓を見込むものであると

▲發起人木澤常松、淺井忠市、屋島廉輔、白土勝治、佐々木節次郎、佐々木喜平、橋本午吉、管野永太郎、佐藤繁次、永山富藏、大谷要次郎、白土正藏、小野宇七、久保林之助、磯谷豐、永山和平、永山義太郎、會川延太郎、古田部春吉、青木榮吉、荒川恒次郎、遠藤忠治

乘合自動車の紛糾解決
昨二十三日平署にて圓滿に

平、湯本町間の乘合自動車業者間に紛糾のあることは既報の如く樫村平署長はその仲裁に當されてゐたが昨廿三日午後五時半前記樫村署長は右城自動車業組合支部長の名を以て副支部長野崎滿藏氏と共に立會し關係者を平署に招き向後爭ひを再びせざる樣左記運轉回數率の契約を交換し圓滿なる解決を告げたが運轉時間は從前の如く午前七時半から午後八時半迄であると

▲鈴木稻寶七臺、吉田直之助四臺、溝邊安久三臺、大藤一二臺、片寄朝男一臺（以上）

東京府下で
逮捕さる
石城から逃げた窃盜犯

石城郡豊間村の沼の内生れ當時住所不定無職鈴木竹義（二四）は同郡高久村の下高久字八幡九三牛乳搾取業志賀國松方に雇はれ中の去る三月同僚なる鈴木正次郎所有の銘仙袷外衣類數点價二十圓を窃取逃走所在を晦ましてゐたが平署の檢査によつて東京府下三河島町字町尾四五三井上市郎方に居住しゐるを探知逮捕目下取調中

ポンプ購入の平町會
來る二十五日

平町では來る廿五日午後一時左記に關して町會を招集すると自動車ポンプ購入、寄附金採納の件

平署管下清潔法
來五月一日から

平署管下廿二ケ町村春季清潔法は五月一日から左記日割で施行される筈であるが平町に於ける三日及び十七日二日間の日割は徵兵檢査關係でこの日取になつたものであると

▲平町五月三日、同十七日、神谷一日、夏井二日、飯野八日、高久五日、内郷一日、湯本三日、磐崎五日、玉川十一日、小名濱三日、鹿島七日、江名五日、豊間十二日、平窪六日、上下小川三日、赤井七日、好間八日、澤渡六日、三坂八日、永戸十一日、箕輪十日

八丈島南沖に初鰹
活氣立つ本縣各濱
探漁中の盛厚丸が七百尾
水試船磐城丸も近く出航

本縣各濱は鰹漁期に近づきは來五月中には平町の魚市場にもはね出す樣な鰹の出荷を見られるであらうと愈よ出漁準備に忙殺されて來たが豫ねて小名濱海岸に於て修繕中であつた縣水試船磐城丸も船體機關共に完全な

修理を　終へたので近く探漁に出航の準備中である折柄耳よりな情報頻りであつて江名町に於ける縣下唯一の新船盛厚丸は八丈島附近で七百尾を漁獲せるものに

相次へ　で同海區に探漁中の岩手縣試驗船岩手丸は二千尾同じく千葉縣水（通水）を行つたが水路關係にも何等の支障なく當日から愈よ江筋の滿水を見ることになつた

愛谷江筋
今日水取
一舉兩得の假堰施設で

石城郡愛谷堰の改修工事は既報の如く總てが順調なる進捗を見せ向後約半ケ年で完成の豫定らしいが來る農期に處ある假堰も本工事區域の止水堤を築堤する施設が豫期以上の成績を以て廿二日四日俗に云ふ水取式

俳句

桃の御所（四）
十寸叟

紙雛にすまふとらせる男の兒

かう云ふ腕白があるから亭主殿のつきについて居るのも無理からぬ事か

豆入を噛み〳〵雛のいとまごひ

豆入は豆炒りの誤りなるべし騒然たる幼い客禮も作法もあつたものかは御馳走に出た豆いりを口一パイに頬張りながら（おばちやんごちちようちやま）

古い雛花の外には菓子ばかり

飾句だと云ふので不得止飾つた古い雛樣供へ物とては桃の花に五色の菓子ばかりで白酒も帝詰めもないと云ふのでありますが此句の手娘に自慢の雛を各部屋々々に飾り立てゝ内心甚優劣を競ひ合ふのを南朝北朝對立したと見立てたのでありまの長唄の文句にある（花の外には松ばかり）と云ふの（菓子ばかり）ともぢつたは

嫁娘南北朝の雛をたて

現代はこんな事はありますまいが江戸時代の大家の奥には往々にあつた事で嫁は嫁に持參の雛を家付の娘は娘に自慢の雛を各部屋々々に出た豆いりを口一パイに頬張りながら（おばちやんごちちようちやま）

古い雛花の外には菓子ばかり

基礎工
事に百七十

豚の傳染病（五）

法定の三種傳染病と症狀並豫防

疑はしき病豚や斃死豚ある場合は最寄の警察署又は駐在所に届出で且つ獸醫師の診斷を受けること

發生の場所は警察官吏や家畜防病委員の指揮を受けて病毒の根絶を圖ること

豚コレラ、豚丹毒には免疫血清が出來てゐて近くに本病が發生した時は之れを注射すると安全である、

免疫血清は注射後直ちに免疫の効力を生じ約三週間は病毒に對する豫防性を有してゐるが次第に消失するから三週間乃至四週間毎に反復注射をしなければならない、又免疫血清は發病の初期に豫防量の約倍量を注射すると病氣を治療する効力を有してゐる

豫防液、これは各病共に有効なるものが出來てゐて其の應用はそれ〴〵の傳染病豫防上に卓効を奏してゐる、即ち近くには病氣はないが周圍の狀況により何時病毒が侵入するかも知れない樣な場合にはこの豫防液の注射を行ふのがよい、尙ほ場合によつては血清と豫防液を共用することもある

驚異的の効果を有する婦人藥

座藥　美神丸

內服藥　美神湯

婦人病に惱む方々に一度は實驗を勸む

町代理店　平町五丁目角　山野邊藥局

御客樣方に喜ばる良品賣

春物入荷　山澤

平田　伊勢吳服店

◇破格の勉強で歡迎される

靜岡本場小笠銘茶　大角園　特約

半谷商店　平大町若松病院隣

そばからの枕は頭の爲には一番良いと申されて居ります

そばから　一升三錢　そばこ　百匁八錢　そば　一人前五錢

平町土橋　福麥　マルマン商店　電話四八九番

債券、公債、兩替金融

多田井質店

平町大工町　電話五九一番

貸切は？

親しみあるサービスを以つて知られたる!!

尼子タクシーへ

電六四〇番

主任澤正路

雨露に晒す程強く太る煙突

煙突は『朝日』

石綿セメント製　朝日煙突

絶對にはぜ太い！やけ太い！くさら太い！

經濟的で火災の心配が太い

㊫釜屋商店

磐城共濟病院案內

本病院は時局に鑑み入院料並に往診料左の通り低減致候間御參考迄申上候

入院料　一般　金貳圓也

一日　本會員金壹圓五十錢

往診料　院長及其他の博士に限り、一般金三圓也　平町本會員金二圓也

尙地方往診も之に準じ低減致候間此段申添候也

各科專門醫擔當

內科　小兒科

外科　皮膚泌尿科　整形外科　內臟外科

產婦人科　女子泌尿科

耳鼻咽喉科

×光線科（物理學的診療科）

院長　醫學博士　石山謙郎

本院主管　賀澤忠治

◇衞生試驗所　◇病氣相談所　◇救療所　本病院內

救療を申込る方は當相談所へ御話し下さい

看護婦募集……磐城共濟會（磐城平町　電話六四一番）

はき物は

電話五七四

價ハやすく斷然新型で商品切手の便利あり

平町田町通り　新妻はき物店

新安値段特賣

年令十四五歲　徒弟サン募集

精幸堂時計店

平町才槌小路二九

表代磐城銘酒

美味經濟　ひらた醬油　ヤマワル

山崎合名會社　電話十番

破格的大勉强の新しい書店

舊磐中校下乾商店跡に

新店であるが故の一時的勉强ではない永久に薄利多賣主義、親切、迅速をモットーとして皆樣の御期待に奉仕する

商品目

書籍　雜記　中等教科書一式

中等學校參考書　小學參考書

ノート雜記　一般文房具

諸帳簿紙類　高級萬年筆

平町撥鉋小路

電話三一五番

振替東京三五八〇八番

コマツ書店

いつも生ビールがございます

キレーな座席で氣もちよく

フランス料理のおいしい献立

サロン

平田町　電話三五二